

メタセコイヤ



太田小学校 学校だより 7月号 R8. 6. 30 (火)



レジリエンスを身につけよう！

7月を迎えました。6月は「梅雨」ということもあり、雨の日や蒸し暑い日がありましたが、太田っ子は元気いっぱいに乗り切ってくれました。またプールでは、自ら立てた目標に向けて頑張る姿もととてもすばらしく、感心するばかりです。7月はさらに暑い日が続きますが、1学期を良いかたちで締めくくってほしいと願っています。保護者のみなさまには、引き続き熱中症対策等、子どもたちの健康管理をお願いいたします。

さて、今回は「レジリエンスを身につけよう！」というテーマでお話ししてみたいと思います。まず、右の「それでも息子を日本の学校に通わせたい」という本について紹介します。この本は、日本・イギリス・アメリカの3か国で教育を受けてきた山崎エマさんの著書で、組体操で「どんなに難しいことでも、みんなで力を合わせればできるんだ」と実感したことや高校野球の取材で「報われなかった努力を無駄にせず、次につなげていこうとする姿」から、日本の教育の中にある「レジリエンス」的な経験について書かれています。そして、その経験が社会に出た後の様々な困難に対応できると書かれていました。人が生きていく中で、時には心が折れそうになったり、くじけそうになったりして、様々な困難に直面することがあります。しかし、中にはその困難をバネにして乗り越えていく人がいます。このように、心が折れそうになっても立ち直る力を「レジリエンス」といいます。（＊日本語で若竹のような「しなやかさ」と表現する人もいます。）この「レジリエンス」は、今の時代や現代の状況に必要な、とても大切な力（非認知能力）の一つです。未来に生きる、そして、未来の社会を支える子どもたちにぜひ身につけてもらいたいと考えています。この「レジリエンス」の力を高めていくに必要なことは、「自分是可以する！」という気持ちを強くもつことだそうです。その反対に「レジリエンス」の力を弱める言葉は「どうせ」だそうです。例えば、「“どうせ”自分にはできない」とか““どうせ”努力しても自分には無理だ”といった“どうせ”です。毎日の生活の中で、たとえ辛いことや悲しいことがあっても“どうせ”という言葉を使わず「自分是可以する！」と思って、諦めずに頑張って踏みとどまってほしいと思います。努力していく中で、それでも心が折れそうになったら、周りにいてくれる家の人や友だち、さらには地域の方々や先生たちなど相談できる人を頼りましょう。そこでは、お互いの意見や考えを伝え合い協議を重ねたり、一緒に解決方法を見出していったりしながら歩み続けることで、道が開けるとともに「レジリエンス」が身についてくることでしょう。（文責）校長 岸本 裕希



「詩のコーナー」ぜひご家族で

みず

（こぶたはなこ）

（工藤 直子）

わたし みずたまり すき

みずたまりで

あしぶみするのが すき

あしぶみして

どろんこでできるのが すき

どろんこで

すべて ころぶのが すき

ばしゃびしゃ ちよび

くちやつるん ころり

まっくろけ！

.....

わたし みずあびも すき

「のはらうた」より



運動会（全校生）

「つなぐ想い 一人一人が主人公 かがやくぶたいは 運動会」のテーマのもと、5月30日に運動会を開催しました。この日は、雲一つない絶好の天気にもぐまれ、子どもたちも練習の成果を十二分に発揮しました。

1・2年生の「ZOO～きみがいるから～」では、最初から最後まで笑顔で楽しく踊っていました。特に、ジャンプしながら交互に腕を上げ下げするところがとてもかっこよく、ポンポンもキラキラと輝いていました。

3・4年生の「つなげ！海の力！～魂のソーラン・希望のフラッグ～」では、低い姿勢での「ソーラン・ソーラン」のかけ声、そして、希望のフラッグを大きく振りかざし、海の力をダイナミックに表現していました。

5・6年生の「ミュージカル・リトルマーメイド」では、みんなが1つの劇団として、メリハリのある演技とお互いを信じ切って壮大な場面を次々に演じていく姿、そしてラストシーンでの大きな歌声は圧巻でした。

保護者の皆様には、子どもたちに温かい声援と拍手をいただきました。子どもたちの達成感と充実感につながったことと思います。また、多くの方々に片付けを手伝っていただきました。感謝申し上げます。

給食センター見学（1年生）

6月3日と8日に、1年生が太子町給食センターに見学に行きました。調理しているところを見学させてもらったり、材料の搬入から、給食が各校に運ばれて返ってきて洗浄されるまでの過程を、DVDで見せてもらったりしました。さらに、実際に使っている大きなしゃもじで和え物を混ぜる疑似体験もさせてもらい、センターのスタンプもお土産にいただきました。



プール掃除（6年生）

6月3日に6年生がプール掃除をしました。大プール、小プール、更衣室やトイレ等、各場所に分かれて頑張っていました。汗をいっぱいかきながら、ブラシを手で黒ずんだところを一生懸命擦る姿がとても印象的でした。おかげで、1年生から5年生までのみなさんがプールを楽しんでいます。6年生のみなさん、ありがとうございました。

校区探検（2年生）

6月8日に、2年生が3つのグループに分かれて校区探検に出かけました。北コースでは、太子の郷、太田交番、マルナカなどを、東コースでは、大津茂川、王将などを、西コースでは、東出公民館、スズキ自動車、マックスバリュを探検しました。これをきっかけに、地域の方とつながりをもったり、地域について調べたりしていきます。





リズムジャンプ（1年生）

6月9日と11日に、講師の方に来ていただき、リズムジャンプ教室を実施しました。準備運動の後、簡単なステップから難しいステップに挑戦していきました。途中、カエルや花火のステップもしました。最後には、運動会で表現した「ズートピア2」の音楽に合わせて、思い思いのステップを楽しんでいました。終始笑顔いっぱいでした。

太子町なかよし会交流会（特別支援学級）

6月12日に、太子町内の特別支援学級に在籍する児童がなかよし交流会として、姫路市立科学館に行きました。町内小学校の特別支援学級在籍の児童としゃべりながら、各階の動植物や宇宙に関する展示物を見ていました。また、様々な科学実験のコーナーでは、体や五感を使って身近で不思議な実験を楽しんでいました。



【お知らせ】

〇あゆみ(通知表)の総合所見「お知らせ」および特別支援学級在籍児童の「学習の記録」の表記について

文章で表記している総合所見「お知らせ」欄についてですが、今年度より1・2学期については学期中の学習、または学校生活や活動等の中で、一番の学びや成長の様子等をお知らせします。また、3学期については、学習と学校生活や活動等について複数の内容をお知らせします。

特別支援学級在籍児童の「学習の記録」の表記についてですが、個に応じて各教科を項目別に3段階で表記したり、別紙に文章で表記したりします。児童の学校での様子がよりわかりやすくお伝えできるように変更します。

また、あゆみだけではお伝えしきれないことがあれば、これまで通り個別懇談等でお話しさせていただきます。

〇児童の日常生活における保障制度（タブレットの破損・自転車事故・ネットトラブル等）について

4月より新しいタブレットが導入されました。児童が誤ってタブレットを破損してしまった場合など、以前よりも多くの負担を保護者の方をお願いする可能性があります。万が一の時の保障制度については、これまでに「兵庫県PTA協議会」からのチラシ等を配付させていただいています。また、帰宅してからの自転車事故やSNS・ネット・対人トラブルの被害等などに対応している制度もあるそうです。なお、加入はあくまで任意ですが、各ご家庭で子どもたち対象の保障制度（*特約項目を含む）についてご確認くださいと思います。なお、1年生は夏休みからタブレットを使用します。

【がんばりの足跡】

◇第102回太子町卓球大会（6月7日）

カブ個人の部Aリーグ優勝：日下部太俄（4年）

カブ個人の部Bリーグ優勝：本眞蒼都（4年）

カブ団体の部優勝：カブ太田っ子

日下部太俄（4年） 宗野朗大（4年） 梅本瑛太（4年）

◇第79回姫路市民スポーツ大会第31回姫路バトントワーリング（6月7日）

入門ソロストラット金賞：小山陽菜（1年）

◇TOSHIBA 小学生ソフトボールの部（6月6日）

優勝：太田ファイターズ

◇第37回兵庫県スポーツ少年団柔道交歓大会（6月14日）

優勝：鈴木童也（1年）

◇令和8年度夏季大会（6月14日）

優勝：太田ファイターズ